

(再評価)

資料 2 - 5 - ②

関東地方整備局

事業評価監視委員会

(平成26年度第8回)

一般国道464号 北千葉道路

平成27年1月16日

国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道464号	北千葉道路	L=9.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
25,500~34,200	4	関東地方整備局 千葉県

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	777億円	35億円	812億円
うち残事業分	154億円	32億円	186億円
基準年における 現在価値 (C)	840億円	8.4億円	848億円
うち残事業分	130億円	7.6億円	138億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成42年度			
単年便益 (初年便益)	81億円	13億円	4.5億円	98億円
基準年における 現在価値 (B)	815億円	137億円	47億円	1,000億円
うち残事業分	777億円	128億円	42億円	947億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	152億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.5%
費用便益比（残事業）	6.9
経済的純現在価値（残事業）	809億円
経済的内部収益率（残事業）	13.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	25,500～34,200	±10%	1.1～1.3
事業費	777億円	±10%	1.2～1.2
事業期間	25年	±3年	1.0～1.4

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	25,500～34,200	±10%	6.2～7.9
事業費	154億円	±10%	6.3～7.6
事業期間	15年	±3年	6.0～9.5

交通状況の変化

事業名：北千葉道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (北千葉道路):9.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	28,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	11	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	59.42	
②主な周辺道路 ^{※4}	東関東自動車道： 30.6km	交通量	[台/日]	73,100	70,900
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	314.84	303.68
	国道356号： 14.4km	交通量	[台/日]	18,400	17,600
		走行時間	[分]	28	22
		走行時間費用	[億円/年]	96.63	75.09
	国道464号： 9.1km	交通量	[台/日]	17,100	14,400
		走行時間	[分]	24	18
		走行時間費用	[億円/年]	75.35	49.98
	成田安食線： 4.5km	交通量	[台/日]	10,200	8,600
		走行時間	[分]	13	10
		走行時間費用	[億円/年]	24.14	15.77
③その他道路合計： 3617.6km	走行時間費用	[億円/年]	17,437.07	17,363.54	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3686.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	17,948.02	17,867.48	80.53

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

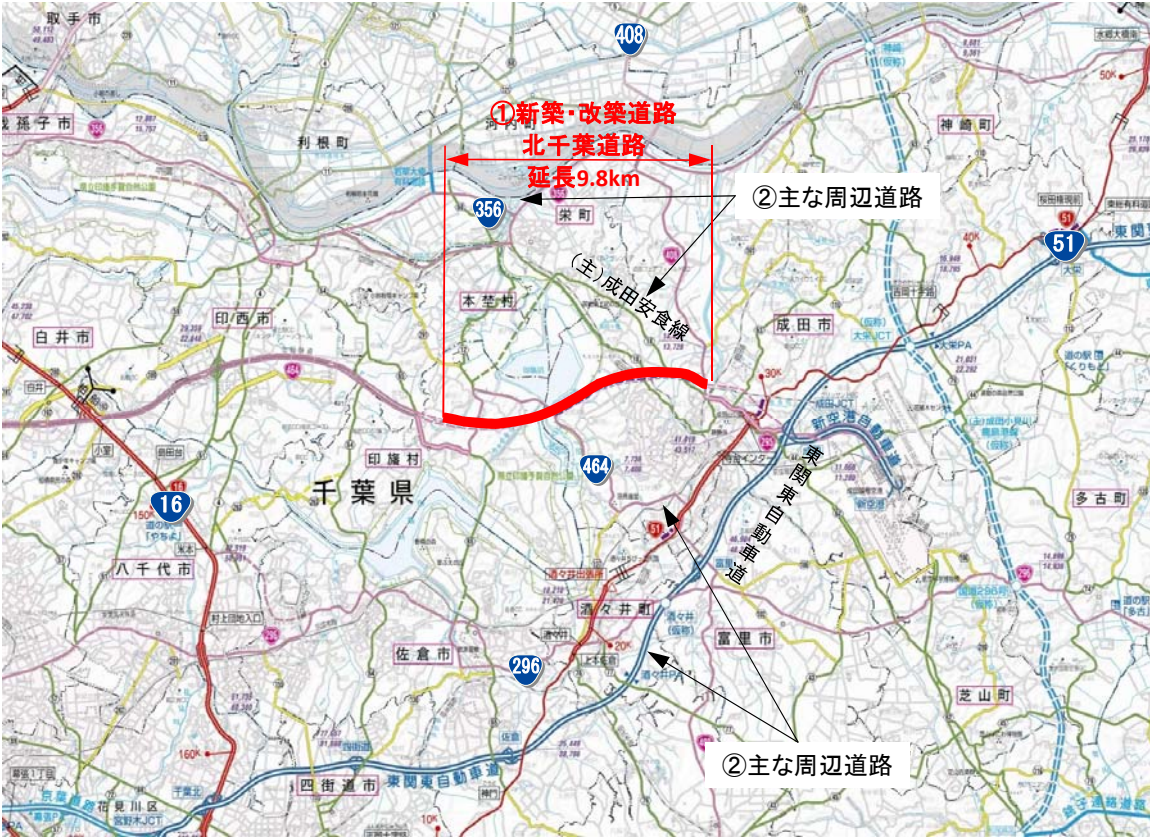
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

事業名：北千葉道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (北千葉道路):9.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	4,500	27,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	14	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	1.685	59.42	
②主な周辺道路 ^{※4}	東関東自動車道: 30.6km	交通量	[台/日]	72,800	70,900
		走行時間	[分]	23	23
		走行時間費用	[億円/年]	313.18	303.68
	国道356号: 14.4km	交通量	[台/日]	18,200	17,600
		走行時間	[分]	28	22
		走行時間費用	[億円/年]	95.71	75.09
	国道464号: 9.1km	交通量	[台/日]	17,100	14,400
		走行時間	[分]	23	18
		走行時間費用	[億円/年]	73.93	49.98
	成田安食線: 4.5km	交通量	[台/日]	10,200	8,600
		走行時間	[分]	13	10
		走行時間費用	[億円/年]	23.48	15.77
③その他道路合計: 3617.6km	走行時間費用	[億円/年]	17,436.31	17,363.54	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3686.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	17,944.29	17,867.48	76.81

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：北千葉道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成26年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 権限代行区間であるため、千葉県が管理する国道の実績値から設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他 上記のほか、B/Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:北千葉道路 (事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.08	9.8	0.76	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-25年目	H 17	1.4233	99.6	19.01	24.80		
-24年目	H 18	1.3686	98.7	34.07	43.13		
-23年目	H 19	1.3159	97.6	81.00	99.70		
-22年目	H 20	1.2653	96.8	75.33	89.89		
-21年目	H 21	1.2167	95.6	107.95	125.44		
-20年目	H 22	1.1699	93.7	79.42	90.53		
-19年目	H 23	1.1249	92.1	60.00	66.91		
-18年目	H 24	1.0816	91.3	81.25	87.88		
-17年目	H 25	1.0400	91.3	43.19	44.92		
-16年目	H 26	1.0000	91.3	41.19	41.19		
-15年目	H 27	0.9615	91.3	44.44	42.72		
-14年目	H 28	0.9246	91.3	29.91	27.65		
-13年目	H 29	0.8890	91.3	20.79	18.48		
-12年目	H 30	0.8548	91.3	8.88	7.59		
-11年目	H 31	0.8219	91.3	4.21	3.46		
-10年目	H 32	0.7903	91.3	4.21	3.33		
-9年目	H 33	0.7599	91.3	4.20	3.19		
-8年目	H 34	0.7307	91.3	4.20	3.07		
-7年目	H 35	0.7026	91.3	4.20	2.95		
-6年目	H 36	0.6756	91.3	4.20	2.84		
-5年目	H 37	0.6496	91.3	4.20	2.73		
-4年目	H 38	0.6246	91.3	4.20	2.63		
-3年目	H 39	0.6006	91.3	5.10	3.07		
-2年目	H 40	0.5775	91.3	6.10	3.52		
-1年目	H 41	0.5553	91.3	5.36	2.98		
供用開始年次	H 42	0.5339	91.3			0.70	0.37
1年目	H 43	0.5134	91.3			0.70	0.36
2年目	H 44	0.4936	91.3			0.70	0.35
3年目	H 45	0.4746	91.3			0.70	0.33
4年目	H 46	0.4564	91.3			0.70	0.32
5年目	H 47	0.4388	91.3			0.70	0.31
6年目	H 48	0.4220	91.3			0.70	0.30
7年目	H 49	0.4057	91.3			0.70	0.28
8年目	H 50	0.3901	91.3			0.70	0.27
9年目	H 51	0.3751	91.3			0.70	0.26
10年目	H 52	0.3607	91.3			0.70	0.25
11年目	H 53	0.3468	91.3			0.70	0.24
12年目	H 54	0.3335	91.3			0.70	0.23
13年目	H 55	0.3207	91.3			0.70	0.22
14年目	H 56	0.3083	91.3			0.70	0.22
15年目	H 57	0.2965	91.3			0.70	0.21
16年目	H 58	0.2851	91.3			0.70	0.20
17年目	H 59	0.2741	91.3			0.70	0.19
18年目	H 60	0.2636	91.3			0.70	0.18
19年目	H 61	0.2534	91.3			0.70	0.18
20年目	H 62	0.2437	91.3			0.70	0.17
21年目	H 63	0.2343	91.3			0.70	0.16
22年目	H 64	0.2253	91.3			0.70	0.16
23年目	H 65	0.2166	91.3			0.70	0.15
24年目	H 66	0.2083	91.3			0.70	0.15
25年目	H 67	0.2003	91.3			0.70	0.14
26年目	H 68	0.1926	91.3			0.70	0.13
27年目	H 69	0.1852	91.3			0.70	0.13
28年目	H 70	0.1780	91.3			0.70	0.12
29年目	H 71	0.1712	91.3			0.70	0.12
30年目	H 72	0.1646	91.3			0.70	0.12
31年目	H 73	0.1583	91.3			0.70	0.11
32年目	H 74	0.1522	91.3			0.70	0.11
33年目	H 75	0.1463	91.3			0.70	0.10
34年目	H 76	0.1407	91.3			0.70	0.10
35年目	H 77	0.1353	91.3			0.70	0.09
36年目	H 78	0.1301	91.3			0.70	0.09
37年目	H 79	0.1251	91.3			0.70	0.09
38年目	H 80	0.1203	91.3			0.70	0.08
39年目	H 81	0.1157	91.3			0.70	0.08
40年目	H 82	0.1112	91.3			0.70	0.08
41年目	H 83	0.1069	91.3			0.70	0.07
42年目	H 84	0.1028	91.3			0.70	0.07
43年目	H 85	0.0989	91.3			0.70	0.07
44年目	H 86	0.0951	91.3			0.70	0.07
45年目	H 87	0.0914	91.3			0.70	0.06
46年目	H 88	0.0879	91.3			0.70	0.06
47年目	H 89	0.0845	91.3			0.70	0.06
48年目	H 90	0.0813	91.3			0.70	0.06
49年目	H 91	0.0781	91.3	-63.98	-5.00	0.70	0.05
合計				712.64	839.62	35.03	8.36
単純事業費計				776.62		35.03	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名:北千葉道路(残事業)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				—	9.8	0.69	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-15年目	H 27	0.9615	91.3	44.44	42.72		
-14年目	H 28	0.9246	91.3	29.91	27.65		
-13年目	H 29	0.8890	91.3	20.79	18.48		
-12年目	H 30	0.8548	91.3	8.88	7.59		
-11年目	H 31	0.8219	91.3	4.21	3.46		
-10年目	H 32	0.7903	91.3	4.21	3.33		
-9年目	H 33	0.7599	91.3	4.20	3.19		
-8年目	H 34	0.7307	91.3	4.20	3.07		
-7年目	H 35	0.7026	91.3	4.20	2.95		
-6年目	H 36	0.6756	91.3	4.20	2.84		
-5年目	H 37	0.6496	91.3	4.20	2.73		
-4年目	H 38	0.6246	91.3	4.20	2.63		
-3年目	H 39	0.6006	91.3	5.10	3.07		
-2年目	H 40	0.5775	91.3	6.10	3.52		
-1年目	H 41	0.5553	91.3	5.36	2.98		
供用開始年次	H 42	0.5339	91.3			0.64	0.34
1年目	H 43	0.5134	91.3			0.64	0.33
2年目	H 44	0.4936	91.3			0.64	0.31
3年目	H 45	0.4746	91.3			0.64	0.30
4年目	H 46	0.4564	91.3			0.64	0.29
5年目	H 47	0.4388	91.3			0.64	0.28
6年目	H 48	0.4220	91.3			0.64	0.27
7年目	H 49	0.4057	91.3			0.64	0.26
8年目	H 50	0.3901	91.3			0.64	0.25
9年目	H 51	0.3751	91.3			0.64	0.24
10年目	H 52	0.3607	91.3			0.64	0.23
11年目	H 53	0.3468	91.3			0.64	0.22
12年目	H 54	0.3335	91.3			0.64	0.21
13年目	H 55	0.3207	91.3			0.64	0.20
14年目	H 56	0.3083	91.3			0.64	0.20
15年目	H 57	0.2965	91.3			0.64	0.19
16年目	H 58	0.2851	91.3			0.64	0.18
17年目	H 59	0.2741	91.3			0.64	0.17
18年目	H 60	0.2636	91.3			0.64	0.17
19年目	H 61	0.2534	91.3			0.64	0.16
20年目	H 62	0.2437	91.3			0.64	0.16
21年目	H 63	0.2343	91.3			0.64	0.15
22年目	H 64	0.2253	91.3			0.64	0.14
23年目	H 65	0.2166	91.3			0.64	0.14
24年目	H 66	0.2083	91.3			0.64	0.13
25年目	H 67	0.2003	91.3			0.64	0.13
26年目	H 68	0.1926	91.3			0.64	0.12
27年目	H 69	0.1852	91.3			0.64	0.12
28年目	H 70	0.1780	91.3			0.64	0.11
29年目	H 71	0.1712	91.3			0.64	0.11
30年目	H 72	0.1646	91.3			0.64	0.10
31年目	H 73	0.1583	91.3			0.64	0.10
32年目	H 74	0.1522	91.3			0.64	0.10
33年目	H 75	0.1463	91.3			0.64	0.09
34年目	H 76	0.1407	91.3			0.64	0.09
35年目	H 77	0.1353	91.3			0.64	0.09
36年目	H 78	0.1301	91.3			0.64	0.08
37年目	H 79	0.1251	91.3			0.64	0.08
38年目	H 80	0.1203	91.3			0.64	0.08
39年目	H 81	0.1157	91.3			0.64	0.07
40年目	H 82	0.1112	91.3			0.64	0.07
41年目	H 83	0.1069	91.3			0.64	0.07
42年目	H 84	0.1028	91.3			0.64	0.07
43年目	H 85	0.0989	91.3			0.64	0.06
44年目	H 86	0.0951	91.3			0.64	0.06
45年目	H 87	0.0914	91.3			0.64	0.06
46年目	H 88	0.0879	91.3			0.64	0.06
47年目	H 89	0.0845	91.3			0.64	0.05
48年目	H 90	0.0813	91.3			0.64	0.05
49年目	H 91	0.0781	91.3	-3.83	-0.30	0.64	0.05
合計				150.39	129.92	31.81	7.59
単純事業費計				154.22		31.81	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道464号	北千葉道路	4	9.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①	工事費				13,866	
	改良費				2,112	
		土工	m3	309,605	403	
		軟弱地盤改良工	m3	39,100	359	
		法面工	m2	48,578	44	
		擁壁工	式	1	382	
		函渠工	m	407	51	
		排水工	m	12,268	406	
		雑工	式	1	467	
	橋梁費				6,657	
		100m以上	m	1,783	6,407	
		100m未満	m	54	250	
	トンネル費				2,174	
		開削	m	217	2,174	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				580	
		IC	箇所	1	580	
		JCT	箇所	-	-	
	調整池費				567	
		調整池	箇所	14	567	
	舗装費				1,093	
		車道舗装	m2	96,123	1,039	
		歩道舗装	m2	14,863	54	
	付帯施設費				683	
		交通管理施設工	式	1	570	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	782	113	
②	用地及補償費				393	
	用地費		m2	-	383	
		民地	m2	-	-	
		田畑	m2	-	-	
		山林・原野	m2	-	-	
		その他	m2	-	-	
	補償費		式	1	10	
③	間接経費		式	1	2,366	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				16,625	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道464号	北千葉道路	4	9.8km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①	工事費				64,673	
	改良費				16,069	
		土工	m3	1,062,630	1,758	
		軟弱地盤改良工	m3	1,010,900	9,864	
		法面工	m2	84,483	76	
		擁壁工	式	1	1,290	
		函渠工	m	739	425	
		排水工	m	28,793	1,028	
		雑工	式	1	1,628	
	橋梁費				38,710	
		100m以上	m	7,255	36,996	
		100m未満	m	253	1,714	
	トンネル費				4,075	
		開削	m	409	4,075	
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費				1,982	
		IC	箇所	1	1,982	
		JCT	箇所	-	-	
	調整池費				1,214	
		調整池	箇所	26	1,214	
	舗装費				1,696	
		車道舗装	m2	133,830	1,468	
		歩道舗装	m2	62,268	228	
	付帯施設費				927	
		交通管理施設工	式	1	701	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	1,570	226	
②	用地及補償費				6,938	
	用地費		m2	387,632	6,398	
		民地	m2	9,900	525	
		田畑	m2	251,670	4,257	
		山林・原野	m2	110,121	1,273	
		その他	m2	15,941	343	
	補償費		式	1	540	
③	間接経費		式	1	10,189	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				81,800	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道464号	北千葉道路	4	9.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持修繕費	km	9.8	75.7	
維持管理費合計			75.7	

【単価等について】

○維持管理費は、千葉県的一般国道(指定区間外)における維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道464号	北千葉道路	4	9.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持修繕費	km	9.8	68.7	
維持管理費合計			68.7	

【単価等について】

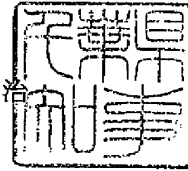
○維持管理費は、千葉県的一般国道(指定区間外)における維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



県土政第984号
平成26年12月26日

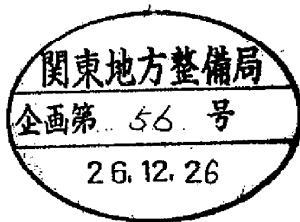
国土交通省関東地方整備局長 様

千葉県知事 鈴木 栄治



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

平成26年12月19日付け国関整企画第219号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



(回答様式)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案 ※	千葉県知事の意見
一般国道464号 北千葉道路	継続	一般国道464号北千葉道路(印西市～成田市)は、成田空港へのアクセス強化や災害時の道路ネットワークの強化などに寄与するとともに、成田市内の交通渋滞を緩和し、交通の円滑化を図る重要な道路である。 また、国施行区間と県施行区間は一体的に整備を進めていることから、引き続きコスト縮減に努めながら、事業の早期完成を図られたい。

※貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。